

## 『地震アンケート』の結果報告

### — 3・11の体験を思い起こし、対策に活かそう —

防災かわら版3月(80号)で『地震アンケート』を実施しました。目的は、12年前の東日本大震災の体験をみんなで共有し合い、次の大地震に活かそうと取り組んだものです。

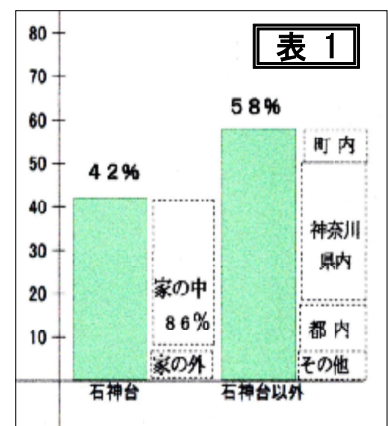
回答は100枚、依頼した約14%でした。皆さんのご協力に感謝し、結果を報告します。

#### 問1、東日本大震災の時、どこにいましたか（場所）

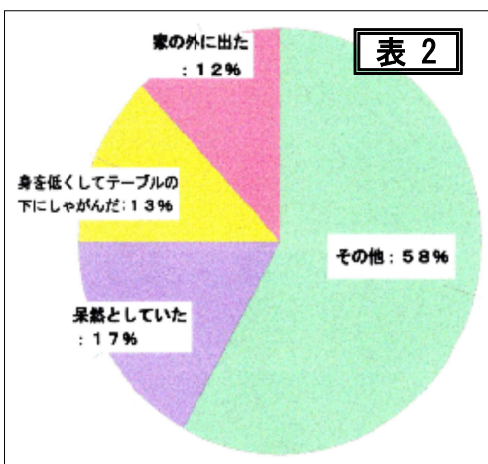
東日本大震災は平日金曜日の午後3時でした。地震発生時「あなたは何処にいましたか」では、表1のように「石神台にいた」方は42%で、その約8割は70才以上でした。そして高齢者は「家の中」(86%)にいる傾向にあることも見えてきました。

高齢者に特化した安全対策の必要性が明らかになったと思います。

「石神台以外にいた」内訳は、「大磯町内」12%、「神奈川県内」69%、「都内」14%、「その他」12%で、多くは神奈川県内でした。都内にいた方々の中には「その日のうちに帰宅できなかった」方もいました。



#### 問2、東日本大震災の地震で、とっさにどう行動しましたか（全体）



- ・身を低くしてテーブル下にしゃがんだ… 13枚 (13%)
- ・家の外に出た… 12枚 (12%)
- ・呆然としていた… 17枚 (17%)
- ・その他… 58枚 (58%)

この設問は「基本動作」であるシェイクアウト(安全確保行動)を問ったものです。

とっさの行動はまず「自分の身を守る」が基本です。基本動作を取られた方は13%でした。



「家の外に出た」「ガス栓を閉めた」「揺れが収まるのを待った」「テレビをつけた」などの回答がありましたが、まずは「自分の身を守る」安全確保が第一であることを肝に銘じましょう。

「その他」に記載があったものには、「道路や駐車場が波打っていたように見えた」とか、「電柱・電線が大きく揺れていた」「動けずに座り込んだ」など未経験・想定外の大地震を感じたのは間違いありません。

家にいる時も、外出や勤務先などでも『基本動作』と共に、体験をもとにまずは身の安全第1を心がけましょう。 <<裏面もご覧ください。>>

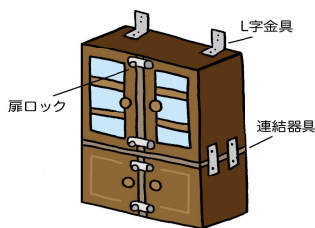


### 問3、大地震が起きた時に備えて、どんな対策をとっていますか。

また、自治会へのご意見・ご要望などありましたらお聞かせください。

#### 大地震に備えてどんな対策を取っていますか？（回答の高位順に集約）

- 1、水・食料の備蓄…59件
- 2、家具類の転倒防止策…45件
- 3、トイレトーパー・簡易組立トイレ…10件
- 4、非常持出バック…5件
- 5、懐中電灯・ペンライト…3件
- 6、何もしていない…2件



- \* 政府広報「ご家庭で取り組むべき主な対策」では、① 家具の置き方 ② 食料・飲料などの備蓄 ③ 非常持出バックの準備 ④ 安否確認方法 ⑤ 避難場所・経路の確認…などとなっていますが、実施した地震アンケート結果は、各家庭で適切な対策が取られているように感じられました。その他に「一部のガラスにテープ」とか、「いざという時の連絡方法の確認」、「町の制度を利用して耐震補強をした。」などもありました。

#### 自治会へのご意見・要望など

共通していた意見・要望には、スマホの充電器や電源となる発電機の確保。大型テントの備え…などで、他には「移動困難な高齢世帯への物資の配給」「避難先への迅速な誘導」「火事と崖崩れへの対応策」「通電火災の啓発」などがありました。いずれも貴重なご意見・ご要望であり、対策をみんなで考えて行きましょう。

また質問で「公民館は震度7に耐えられますか？」と云うのがありました。東日本大震災は「震度7、マグニチュード9でした。震度7は人がほとんど立っていることができない状態です。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では倒れるものが多くなると云われています。町の耐震診断が行われているかどうか、結果がどうかなど確認が必要と思います。

#### 家具の危険例



#### 最後に…

私たちの住む日本は4つのプレートの上に乗かって押し合いへし合いしています。

そのため、自然に恵まれている半面、火山が多く、地震が多いという特徴があります。災害はいつ起こるかわかりません。

「てんでんこ」、「基本動作」、「備え」など過去の教訓を活かして「命・家族・財産」を守って行きましょう。



#### “緊急地震速報”を 活用して身を守ろう！

- ◎ 最大震度5弱以上が推定される場合、テレビやラジオ、携帯電話などを通じて「緊急地震速報」が発表されます。
- ◎ 速報発表から揺れが来るまでの時間は、数秒から数十秒ぐらいです。
- ◎ 速報は的中するとは限りませんが、自分の身を守るため、最大限に活用しましょう。

\* 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い地震に間に合わないことがあります。！

